

## 平成30年度 基幹相談支援センター運営委員会 概要

日 時：平成30年6月5日（火）、15:00～16:30

場 所：札幌市役所 本庁舎6階 1号会議室

出席者：14名 運営委員：永井委員、重泉委員、杉田委員、大下委員、

中田委員、金澤氏（北川委員代理）

（事務局：障がい福祉課2名、ワン・オール6名）

### 次第

- 1 平成30年度の事業計画について、ワン・オールから報告と質疑応答
- 2 ワン・オールの中立性、運営に関する各委員からの意見

### 扱われた内容（平成30年度事業計画に準じて報告）

- ・個別支援、ケースの傾向等について⇒個別支援の傾向と取り扱い方について説明
- ・相談支援事業の後方支援⇒基幹相談支援センターで行う研修のあり方について
- ・「基幹相談支援センター運営業務」のあり方検討について⇒札幌市の相談支援の現状について数的、質的調査と  
札幌市、相談支援部会と連携について
- ・計画相談支援の推進業務について⇒札幌市の相談支援体制について
- ・精神障がい者地域移行支援事業ピアサポーター活用業務の進捗状況⇒地域移行の支援の経過や実際について
- ・札幌市自立支援協議会に関するワン・オールとしての業務⇒事務局業務および地域部会の参加の方向性について
- ・誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネーター業務の進捗状況と今後の動きについて

等

### いただいたご意見

- ・司法からの相談や委託相談が受けづらいケースを基幹相談支援センターが受けていることについて、相談支援部会と整理をしていった方が良いのではないか。
- ・基幹相談支援センターが行う研修の組み立て方について（相談支援部会との連携やアンケートの見直し等）
- ・調査については実施した結果を報告してもらい、今後の活動につなげていてもらいたい。
- ・札幌市の計画相談支援の動きなど、ワン・オールとしての関わり方の発信の必要性。（相談支援専門員の役割発信）
- ・札幌市自立支援協議会（専門部会、地域部会）へは参加の意図を明確にしてほしい。
- ・誰もが住みやすいあんしんのまちコーディネーター業務について、高齢分野とのつながりも作ってほしい。

等